

取扱いツアー



実績と信頼の
国内パッケージツアー
「メイト」



多彩なプランと快適な
海外パッケージツアー
「ホリデイ」



次は、もっと自由に!
航空券と宿泊の選択組み合わせ
海外旅行ダイナミックパッケージ
「旅せるふ」
<http://tabiself.com>



訪れた地での幅広い過ごし方を
提案、紹介するサイト
「旅の発見」
<http://tabihatsu.jp>

弊社サイトのご案内



旅行プランのオンライン検索・予約のほか、充実した関連サービスをお届けしています。

<http://www.knt.co.jp>



会社案内・IR情報ページでは、経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。

<http://www.knt.co.jp/kouhou>

免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。



近畿日本ツーリスト



近畿日本ツーリスト株式会社

株主通信

第73期 第2四半期連結累計期間
(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

INDEX

株主の皆さまへ 1

連結財務諸表 2

TOPICS 3

「!」を創造する舞台裏 4

企業理念／ブランドステートメント／会社概要 5

株主メモ 6



株主の皆さまへ



代表取締役社長

吉川勝久

株主の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、このたび第73期事業年度における第2四半期を終了いたしましたので、第2四半期連結累計期間(平成22年1月1日から平成22年6月30日まで)の業績をご報告申し上げます。当第2四半期連結累計期間の旅行業界は、景気が持ち直しの傾向にあるほか、昨年の新型インフルエンザによる影響の反動もあって、徐々に旅行需要の回復傾向が現れてまいりましたものの、本格的な回復には至りませんでした。このような情勢のもと、当社は中期経営計画に基づき販売構造の革新施策を鋭意進めるとともに、「平城遷都1300年祭」「上海国際博覧会」といった大型イベント関連需要の獲得に向けて積極的な営業活動を行いました。個人旅行事業におきましては、不採算店舗の閉鎖をすすめる一方で、Web販売の拡大に向けて、専用商品の投入や掲載商品の充実、専門スタッフの配置による要員増強といった施策を展開いたしました。団体旅行事業におきましては、北海道・九州地区を分社し、より地域に密着した営業を進めるとともに、「バンクーバー冬

季オリンピック」では日本代表選手団258名のツアーを取扱ったほか、数多くの選手応援ツアーなどを企画・販売し、「FIFAワールドカップ南アフリカ大会」ではグローバル企業を中心とした招待旅行や、一般向け観戦ツアーの販売に努めました。

一方、費用面では年金制度改革を実施するなど、中期経営計画に掲げた重点施策の推進により諸経費の削減を実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は前年同期に比較して0.6%減の286億8百万円、営業損失は21億8百万円(前年同期 営業損失44億44百万円)、経常損失は22億43百万円(前年同期 経常損失42億55百万円)、四半期純損失は41億10百万円(前年同期 四半期純損失83億3百万円)となりました。

今後につきましては、個人旅行事業におけるWeb販売の体制強化や徹底した効率化をはじめとした、販売・費用の両面における構造革新をさらに加速いたします。加えて、お客さまの需要を先取りした商品開発や提案営業を推進し、急激な環境変化に対応するための既存のビジネスモデルの変革を進めてまいります。

このような活動を進めていく上で、当社グループ共通の行動規範として、「常にお客さまの立場に立つこと」を掲げ、CSを促進し、「KNT」グループのブランド強化につなげてまいります。また、お客さまからの信頼性の向上を目指し、コンプライアンス、リスクマネジメントとともに、内部統制を徹底いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年8月

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第73期 第2四半期末 平成22年6月30日現在	科目	第73期 第2四半期末 平成22年6月30日現在
資産の部		負債および純資産の部	
流動資産	69,750	流動負債	88,732
現金及び預金	28,598	営業未払金	9,402
受取手形及び営業未収金	17,488	未払金	3,220
商品	24	未払法人税等	173
団体前払金	11,955	預り金	21,905
その他	11,740	未精算旅行券	38,183
貸倒引当金	△ 57	団体前受金	12,343
固定資産	23,984	賞与引当金	196
有形固定資産	6,802	その他	3,306
建物(純額)	1,896	固定負債	6,187
土地	4,252	退職給付引当金	841
その他(純額)	653	旅行券等引換引当金	1,698
無形固定資産	5,242	その他	3,647
のれん	465	負債合計	94,919
その他	4,776	株主資本	△ 1,777
投資その他の資産	11,938	資本金	7,579
投資有価証券	3,477	資本剰余金	4,930
その他	9,120	利益剰余金	△ 14,128
貸倒引当金	△ 659	自己株式	△ 159
資産合計	93,735	評価・換算差額等	424
		その他有価証券評価差額金	542
		繰延ヘッジ損益	△ 559
		為替換算調整勘定	442
		少数株主持分	168
		純資産合計	△ 1,184
		負債および純資産合計	93,735

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第73期第2四半期 累計期間 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで
営業収益	28,608
営業費用	30,716
営業損失	2,108
営業外収益	262
受取利息	113
受取配当金	23
助成金収入	92
その他	34
営業外費用	398
支払利息	51
持分法による投資損失	7
為替差損	327
その他	12
経常損失	2,243
特別利益	6,503
退職給付制度改定益	6,467
その他	35
特別損失	8,386
退職給付制度終了損	7,171
投資有価証券評価損	567
店舗閉鎖損失	192
減損損失	101
固定資産除却損	58
その他	294
税金等調整前四半期純損失	4,126
法人税、住民税及び事業税	186
法人税等調整額	△ 155
少数株主損失	46
四半期純損失	4,110

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2010年上海国際博覧会のオリジナルツアーの販売を開始

KNTは海外企画旅行商品「ホリデイ中国」から、「上海万博へ行こう!」と題したツアーを3月に発売しました。

これは、5月1日から10月31日まで開催されている「中国2010年上海国際博覧会」を訪れ、史上最大のエキスポと呼び声高い上海万博を楽しむとともに、上海の町そのものを満喫していただくツアーです。「選べる上海万博3・4・5日間」をコース設定し、フライト、ホテル、滞在プランとも、自由に選べる楽しさをご提供し、好評を得ています。



選べる楽しさや地方発着便の 利便性を目玉に 新たな顧客層を開拓しています



企画担当者
より

ツアーの目標人数9,000名を達成するため、専属ガイドが万博会場内を同行する商品や入場チケットの枚数をプラスした商品なども開発しました。また、北は札幌から南は鹿児島まで、地方空港発着商品を強化し、中国旅行需要の開拓に努めています。

タイと香港に現地法人を設立し、 アジア市場での事業拡大を促進

KNTは飛躍的に成長するアジア市場で、現地発着の旅行ビジネスを主力事業とする現地法人や拠点の開設を進めています。

平成21年9月にソウル、22年2月には上海に現地法人の本支店をそれぞれ開設したのに続き、5月にはバンコク、6月には香港にも現地法人を設立。さらに台湾、インドでも準備を進めており、現地と日本との2国間旅行だけでなく、第3国向け旅行も積極的に取扱っていきます。

近畿国際旅行社(香港)有限公司

10月の営業開始に向けて、現在、準備を進めています。当社は、香港や中国南部エリアから出発されるお客さまの旅行を中心に取扱い、「現地旅行会社」を目指します。



現地責任者
持田康之

KNT TRAVEL (THAILAND) CO., LTD.

日本で高い知名度と実績を持つKNTは、タイ人旅行者の信頼を得られるものと確信しています。当社は、良質のサービスと適正な価格をスピーディに提供することを目指します。



現地責任者
アネク・シンソワチャート

創造する舞台裏 Vol.5

を

創立55周年プロジェクト
「みんなの笑顔がみたいから」

55th Anniversary KNT!

笑顔がいっぱい

KNTでは、これまで多種多様な機会と場を通じて社会貢献活動に取り組んできましたが、平成22年はKNT創立55周年プロジェクト「みんなの笑顔がみたいから」の活動を推進しています。このプロジェクトでは、55周年を迎えられた感謝の気持ちを積極的にお客さまと社会に伝えていくことを目的としています。

中国の子どもたちを日本に招待

KNTでは“旅を通じて子どもたちの笑顔をとりもどしたい”というテーマのもと、平成20年の四川大地震で被災した子どもたち30名を「中国こども大使」として平成22年7月26日に日本へ招待しました。日本の小学生たちとの交流や富士山・箱根・東京ディズニーランド観光など、日本での笑顔あふれる5日間を過ごしていただきました。



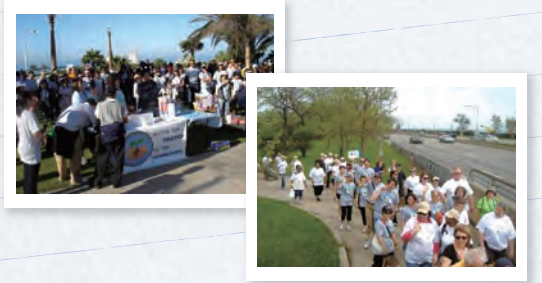
旭山動物園で清掃活動

いまや日本で一番注目を集める動物園となった北海道旭川市の「旭山動物園」は、KNTが旅行会社で一番最初にコースに取り入れた縁の深い施設です。日頃の感謝を込めて平成22年4月24日に、KNTのグループ会社である株式会社ツーリストサービス北海道、株式会社近畿日本ツーリスト北海道の従業員70名以上が清掃活動に取組み、お客さまを誘致するパートナーとして互いの関係を深めました。



アメリカでボランティア活動

KNTのグループ会社であるKINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (U.S.A.), INC.は平成22年5月1日、全米6拠点で291名が参加するボランティア活動を実施しました。ビーチ清掃、地域イベントのお手伝いのほか、女性のガン克服支援募金を目的とした長距離競歩イベントに参加するなど、地元の方々と笑顔で交流を深め、地域社会への貢献に努めました。





企業理念

「KNTは世界中の人々の出会いと感動を創造し、
笑顔あふれる社会の実現にチャレンジしていきます。」

企業ブランド名



企業ブランドロゴマーク



ブランドステートメント

私たちは、お客さまにたくさんの「!」をお届けし、感動・笑顔・信頼の「物語」を創造していきます。
お客さまの 感動×笑顔×信頼＝私たちの喜びです

1. 私たちは、お客さまの声に徹底的にこだわります!
2. 私たちは、明るい笑顔とまごころをもってお客さまに接します!
3. 私たちは、安全を優先し、お客さまに安らぎと安心をお届けします!
4. 私たちは、ネットワークとチームワークで丸となって、お客さまの信頼に応えます!
5. 私たちは、熱意と創意をもって常に新しいことに挑戦します!
6. 私たちは、社会の一員であることを認識し、事業活動を通じて国際交流、環境保全、社会貢献に努めます!

会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社	取締役および監査役			
設立	昭和22年5月	取締役会長	山口 昌紀	取締役	今井 克彦
創立	昭和30年9月	代表取締役社長	吉川 勝久	取締役	向山 秀昭
本社	東京都千代田区神田松永町19番の2	代表取締役専務	馬越 俊司	取締役	西野目 信雄
	電話番号 (03)3255-7115	専務取締役	越智 良典	取締役	辻本 博圭
		常務取締役	斎藤 彰英	取締役	岩橋 伸行
資本金	7,579百万円	取締役	市井 正之	監査役(常勤)	大塚 政夫
発行済株式総数	96,175,121株	取締役	遠藤 昭夫	監査役(常勤)	中辻 康裕
		取締役	小川 亘	監査役	岸田 雅雄
		取締役	野中 雅彦	監査役	植田 和保



株主メモ

単元株式数	1,000株	上場証券取引所	東京・大阪 市場第1部
事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	3月中	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 http://www.knt.co.jp/kouhou/e-koukoku ただし、電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載		

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ■特別口座から一般口座への振替請求 ■単元未満株式の買取請求 ■住所・氏名等のご変更 ■特別口座の残高照会 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号(0120)232-711(フリーダイヤル)
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] <ul style="list-style-type: none"> ■音声自動応答電話によるご請求 (0120)244-479(フリーダイヤル) ■インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufjg.jp/daikou/

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号(0120)232-711(フリーダイヤル)
■上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	